

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和7年3月31日

団体名 綾部市精神保健家族会

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	精神障がい者の社会、経済、文化等、あらゆる分野への社会参加推進、精神障がい者本人とその家族への理解と協力の拡大のために、普及啓発活動及び自立と社会参加の相談等の活動を行う。
事業の名称	綾部市精神保健家族会
事業費 （市補助金）	214,120円 （80,000円）
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	①会場費（月に1度、行っている家族相談会の会場として、あやべ・日東精工アリーナを使用させて頂いている） ②通信費（会員へ、季刊誌や月刊誌〈京都や全国の家族会連合会から送られてくるもの〉及び事務連絡の手紙を郵送している） ③講師謝礼（例会の勉強会の講師への謝礼）
事業実施期日	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
事業実施場所	あやべ・日東精工アリーナ・サクラティエ・ボランティア総合センター・京都府内の他市
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	○毎月第3火曜日に家族相談会実施 ○奇数月の第2火曜日に例会（せせらぎカフェ）実施 ○夏季・冬季の年2回、京都の家族会連合会と共同して商品を販売し、活動資金に充てている ○京都家族会連合会の会議、研修会、講演会・交流会に参加する。 ○京都家族会連合会北部ブロックの講演会、交流会に参加する。または、主催する
補助金の効果（成果） （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	家族相談会・例会を開催することで、会員相互の親睦を深めることが出来た。 補助金を頂いていることにより、会場費の心配や会員への季刊誌月刊誌の送付、事務連絡の送付などの切手代等を心配することなく、各行事が実施できた。

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和7年 3月31日

団体名 綾部市精神保健家族会

（単位 円）

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市補助金	80,000	80,000	
	会費	83,000	83,000	正会員 3,000円 賛助会員2,000円
	寄付金等	17,000	40,000	
	物品販売還元金	20,000	18,200	
	合 計	200000	221,200	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	会場費	15,000	29,600	家族相談会会場費
	負担金	40,000	40,000	京都家族会30,000 社協 5,000 人推協 2,000 作業所 3,000
	消耗品・事務用品費	15,000	20,822	用紙・封筒・インク
	印刷費コピー	20,000	7,500	コピー
	研修会交流会交通費	80,000	63,814	バス・高速・駐車料
	通信費	25,000	47,924	郵送料・切手
	保険	5,000	1,410	ボランティア保険他
	講師謝礼	0	3,050	例会講師お礼
	合 計	200,000	214,120	
	差 引	0	7,080	